



ハーモニー



卒業式まで…

2月22日(水)は公立高校後期選抜の2日目でした。1・2年生もこの日は学年末テストの2日目でした。新聞等で発表があったような問題に来年度は今の2年生が挑戦する番になります。本日テストが終わりましたが、1年後を見据えて夢の実現のための学習を始めていきましょう。分からない問題はどんどん質問してください。先生たちも全力でサポートします。

ところでこの日、既に進路先が決定している3年生は、後期選抜を受けませんので学校に登校して授業でした。下の写真は校歌斉唱の練習の様子です。今の3年生は1年生の時から新型コロナ感染拡大防止対策のために式典で校歌を歌ったことはありません。

しかし、「新型コロナ感染症対策に関するマスク着用について」は学校だよりN037でお知らせしていたように、卒業式では卒業生や教職員がマスクを着用しなくてもよい条件などを示し、会場の換気といった対策を求める。校歌斉唱時や参列する保護者のマスクの取り扱いも早急に整理して提示する。となりました。3年生の保護者様には先日プリントをお配りしましたが、今回の卒業式では以下のようになります。

- ①卒業式での卒業生及び教職員のマスクについては外すことを基本とするが、マスクを着用する必要があったり受検を控えていたりする生徒もいること等を配慮する。ただし、国歌及び校歌斉唱の際はマスクを着用することとする。
- ②来賓や保護者等は、屋内ではマスクを着用する。
- ③身体的距離を1m以上確保できるようパイプ椅子の間隔をとるため、保護者の皆様には各家族2名程度の参加をお願いします。

歌の練習を体育館の後方で聞いていました。メロディーにあわせて歌う3年生の歌声は素晴らしいものでした。当日は後期選抜でこの日にいなかった生徒の歌声も重なりますので感動の歌声が体育館にきっと響くと思います。3年生保護者の皆様、ぜひご期待ください。



今年の防災学習 総まとめ

2月16日(木)の6時間目に各学年で取り組んだ防災学習の発表会を行いました。1年生は地域での避難、2年生は救急救命、3年生はリアルHUGについてです。発表会を通じ、南阿蘇中学校の3年間でどんなことを学ぶか意識してくれました。そして今週21日(火)に今度は白水小、久木野小、南阿蘇西小の6年生と本校の1年生がリモートで防災学習について交流を行いました。6名の代表発表者は落ち着いて堂々と発表しました。6年生の質問にも丁寧に答えていました。



少年の主張 ^{しゅんちゆう} ~わたしの主張 2022~

今回はスマホ依存^{いぞん}を乗り越えて、
生活を送れるようになった中学生の

作品を紹介します。

「後悔する前に行動しよう」

奈良県 中学3年生

最近、自分専用のスマホやタブレットを持っている、という中学生がかなり増えているようです。私は中学生になった頃に、自分専用のスマホを持ちました。そこで、ある問題が発生していることに気付きました。スマホを持つようになってから、勉強があまりはかどらなくなつたのです。私と同じような状態になつてしまった中学生は、多いのではないのでしょうか。

なぜ、私は勉強がはかどらなくなつたのでしょうか。「それは、まぎれもなく、スマホのせいです。」と言いたいところですが、やはりこれは自分自身に何か原因があるのだと考えました。そう、スマホは何も悪くない、私が悪いのです。思い返してみれば、常に、と言って良いほど、私の手にはスマホが握られていました。そう、だってあのときは、私にとってスマホは命と同じくらい大事なものでしたから。私は完全にスマホに依存していたのです。みなさんは、『スマホ依存症』という言葉聞いたことがありますか。簡単に言うと、スマホに没頭し、日常生活に支障をきたすほどになっている状態を示す俗語です。家族で囲む食卓や、お風呂、トイレなどにもスマホを持ち込むようになるのが主な症状です。これによって、昼夜逆転する、成績が下がる、心が乱れてストレスを感じるなどの変化があらわれます。

私は先ほど、体験談として、「スマホを持つようになってから、勉強がはかどらなくなつた」と言いましたね。まさに、これは、自分がスマホ依存症だったという証です。それに、思い返してみれば、スマホを持ち始めたころは、スマホを食卓に持ち込み、通知があるたびに画面をのぞき込んでいました。スマホのことが気になって気になって、しかたなかったのです。それゆえに、両親からは「度が過ぎるぞ。」と注意されました。「ダメだ。私、完全に依存している...。」私は自覚しました。このままではだめだと。どうすれば、スマホから離れられるのだろう。「スマホから離れたいのなら、スマホを没収してもらえばいいんじゃない。」

友達からは、そうアドバイスしてもらいました。でも、それだけは絶対にイヤでした。冗談じゃない。そんなことされたら、メールのやり取りができなくなるし、SNS を見ることだってできなくなる。私の楽しみがなくなるじゃないか。その一心で、私はスマホについての自分のルールを作ることを決めました。その内容は、『スマホは基本的に二、三時間までにすること。そして、テスト期間中はスマホを触らないようにして、勉強に専念すること。』といったものです。最初は難しく感じましたが、定着してくると、それが当たり前になりました。そして何より、このルールは本当に効果があったので、感動しました。私は以前ほどスマホが気にならなくなり、勉強にもしっかり集中できるようになったのです。このように、自分専用のスマホを持つ中学生が増えている今だからこそ、自分なりにルールを作ることはとても大切なことだと思います。後悔する前に、行動するべきです。ぜひ、みなさんもスマホのルールを作って、充実した生活を送ってください。

この作品を書いたきっかけはなんですか？

私は、自分専用のスマホを持つようになってから、勉強がはかどらなくなつてしまいました。この作品を書いたのは、「スマホ依存症だった頃の自分を、改めて見つめ直したい」「そんな自分自身をさらけ出すことで、少しでも気持ちを理解してほしい」と思ったのがきっかけです。私と同じような状態になつてしまった中学生は、たくさんいるのではないのでしょうか。ひとりでも多くの人が、後悔する前に行動することを意識して、生活を送ってほしいと思います。